

2020年度第一回研究例会 質問&回答一覧

第一部	質問	回答
Q1	この程度の英語だったら誰でもわかるという前提なんですね。（この授業を受けるにはある程度英語が必要ということ）	カンボジアの学生は英語は結構うまいです。あと、それとは別に、さきほどのビデオでは英語でスライドが作られていますが、音声はクメール語でした。というのは、外国人の学生が結構いるからです。ただ、中には英語をあまり解さない学生もいますね。
Q2	カンボジアの学習者のICTスキルや、オンライン授業のために使用しているデバイスについて教えてください。学習者にオンライン授業に参加してもらうにあたって対応に困ったことなどありましたか。	ICTリテラシーについてはそんなに高いとは言えないと思います。学生が授業で使用しているデバイスは6割がスマホでした。対応に困ったことは特にありません。（語学スクールということもあり、単位を取らなければいけないということもないため、いろいろなものを駆使してオフライン授業とは違ったものやるといよりは、オフラインでやっていることをオンラインに置き換える感じ）ただ、学生に案内が通じていないことがよくある。その面では対応にやや苦慮したので、案内はくどいくらいやってもいいのではないかと思います。
Q3	google documentsに入れて共有するとちょっと不慣れな先生がうっかり書き換えてしまったり、削除してしまうのではないかと心配があるのですが、この点いかがでしょうか。	閲覧のみにしており、書き換えできるのは私のみなのでその心配はないですね。
Q4	講師の先生の多くが全部ZOOMで同期で授業をやりましようというのは、どのような理由からだと考えられそうですか。	推測になりますが、ビデオを撮るのがめんどくさいと思うのかもしれないですね。でも、いろいろ試したい人はいろんなことやってますね。反転授業でビデオを見てきてください、とか。
Q5	二人体制だと人件費は2倍かかったんですか？	先生は正職員で月給制なので人件費は変わりませんでした。オフラインの時よりもオンラインの方が授業が減っているので、そのへんは理解していると思います。今回非常勤の先生にはオンライン授業をお願いしていないのですが、もし非常勤の先生が入ったら2倍になりますね。
Q6	Google driveを共有して、資料の保存場所を伝えるのとdocumentのリンク共有では使い勝手は違いますか。	ちょっとちがうと思います。というのは、もしフォルダ自体を共有した場合、お目当てのファイルを探すときの手がかかりは「ファイルのタイトル」だけになります。document自体をシェアすれば、そこからリンクに飛ばせるのはもちろんですが、補足する情報をちょっと書いておくことができます。例えばリンクを書き下に、※●月●日に更新しました！必ず見てください！とか。そう書いておけば、他の資料を目的にそのdocumentに接続した人も見てくれるかもしれません。
Q7	『まるごと』テキストの配布はどのようにされましたか？	非公式に取りに来てもらいました。ただ、地方にいる学生については、出版社のウェブサイトアップされているテキストデータをみてもらうようにした、
Q8	オンラインにしたことによって、遠方からの参加者が増えましたか？また、今後オフラインに戻ったとしても、オンラインを続けてほしいという声も出ていると想像しますが、両方する予定はございますか？	Q11とQ19で回答済
Q9	評価（テストなど）はどのようにするか、現時点での計画はありますか？	会話テストはZoomを使ってやる予定。筆記テストはGoogle formで。所属先は単位を出すシステムではないので、カンニングなどのことは気にせずやる予定です。
Q10	FBでの投稿で動画を見てもらうというのは「授業前に動画を見ておいてください」ということでしょうか。それを（前日とかではなく）授業開始直前のタイミングで流すのは何か理由がありますか？	私が提案したのは「授業時間になったら見てください」というものですが、授業前にも見てほしいと思います。授業時間内にビデオもリアルタイムの講義も収めたい、と思ったからです。というのは例えば10分のビデオを事前に見てもらって、ZOOMは90分講義をおこなうとした場合、講師にとっては100分間の労働を強いることになります。それを、授業時間に見れば、「ビデオ10分ZOOM80分」となり、講師の負担は変わらないからです。
Q11	今後、もし休校措置が解除された後も、「オンラインで参加したい」と言う学習者がいた場合、対応する可能性はありますか？	個人としてはやりたいと思っています（が、私の一存で決められるものではないので何とも言えないところ。）ただ、今後オンラインコースもレギュラーコースに加えたいと考えています。
Q12	授業の進度は、オフラインで予定していたものと変わらなかったのに、学生の体感としては早く感じていたのでしょうか？	そうですね。講師の先生はオフラインの時と比べて、それほどやり方は変えていないと思いますが、そのような意見が多いということは、オンラインでの授業がオフラインの授業より進度を早く感じさせる何かがあるのだと思います。
Q13	テストはどのような形で実施したのでしょうか？ 学生にテキストをデータとして渡したのでしょうか？	今学期はまだ実施していませんが、前学期の期末試験はオンラインで実施しました。 筆記テスト → Googleフォームによる選択問題のみ。（リンクを配って、9時から17時までの間に受けてくださいのような指示を出しました） 会話テスト → 電話やビデオ会議システムを使って。

2020年度第一回研究例会 質問&回答一覧

Q14	事前にFBを見てこない人にはどうされたのでしょうか。	事前に見たかどうか問いかけて確認し、見てこなかった学生が授業に来た時に「今見てください」と伝え、その場で見てもらいました。その間、見てきた学生と別の活動をするようにして、全員が見終わるのを待つようにしています。→それにより、見てこなかった学生が「見てこないとまずいんだ」という意識付けをする
Q15	模擬授業では、機能の使い方を重点をおいておられたのか、オンラインで授業をするためのテクニック（学習者とのコミュニケーションの取り方など）も含めて模擬授業を行ったのか教えてください。	私の焦点は「機能の使い方」の方です。とにかく90分の授業をつつがなくおこなえること、機械的なトラブルが起こってもちゃんと対処できるようになることだけを見ました。が、模擬授業をおこない、講師間でフィードバックをするときにはいろいろな意見交換がなされました。私は「授業の質」は講師の先生がちゃんと管理できると思っていましたので、やり方自体にはあまり注目しませんでした。
Q16	非同期を取り入れる教師とそうでない教師がいた場合、授業時間も変更なさいましたか？	授業時間は守ろうという話をしました。反転ビデオは「授業時間内にみてもらおう」という提案をしました。なので、ZOOMセッションの時間は短くなります。
Q17	非同期の課題に対して、受講生から大変だという声はありませんでしたか？ 全員取り組んでいない場合、同期授業で対応しなければならないことがありましたか？	まだ、全体を私があまり把握していないのでなんとも答えられませんが、課題などを提出しなくても叱責があるようなシステムではありませんので、やる人はやる、やらない人はやらない、という感じだと思います。
Q18	一般の教師にとってはビデオを作るのは無報酬の労働奉仕になってしまうからしたくなかったのではないのでしょうか。（常勤にとっては余計な仕事ですし。）	私が提案したのは、ビデオを流す分も授業時間に含める、というものです。つまり90分の授業のうち、10分の動画を流したら、講義は80分にするというものです。また、発表では言及しませんが、基本的に同じ授業が午前と午後にあります。進度はまったく同じなので、一度ビデオを作れば2回分使えるということになり、むしろ2回とも全て同期的な授業をおこなうより負担は減ります。また、私が提案したビデオも、別に凝ったものではなくて「ZOOMでもおこなう一方的になりがちな文法的な説明の部分をただビデオ化する」というだけですので、ビデオ撮影に慣れば、むしろ講師の負担は減ると考え提案しました。
Q19	オフラインに比べて学習者が減ったそうですが、オンラインにすることで、これまでにいなかった層（地方の学生とか）が増えたといった現象はありましたか？	数字的にはわかりませんが、今地方にいる学生だけでなく、日本にいるカンボジア人も受講しています。増えたかどうかは定かでないのですが、オフラインだったら今まで取り込めていなかった層を取り込んでいるというのはあります。
Q20	オンラインにすることでコース料金を安くしましたか？	だいたい半額にしました。
Q21	学習者個々にフィードバックしたいとき、チャットなどのメッセージでは効率が悪かったり、細かく伝えられないときがあるのですが、そういったことはありましたか？	そうですね。大体はクメール人の先生が授業をやっているのですが、その場で解決してそうな感じですね。日本人の先生の授業では授業後にFB上でやりとりがあることが結構ありますね。
第二部	質問	回答
	ビームさん、まずマイクが本格的ですね。チャンネルはこちら。 https://www.youtube.com/user/bumbimz?hl=ja&q=JP&app=desktop	—
	日タイなかよし ไทยญี่ปุ่นเพื่อนกัน https://www.facebook.com/groups/617222402086242/	—
	マカラ先生のチャンネル。 https://www.youtube.com/channel/UCwOtgQSD5EADwS_un8t119Q	—
	マカラ先生のFBページ。 https://www.facebook.com/Makara-Sensei-214249815746010/	—
Q1	「心と目標をつなぐ」というときの「目標」は例えばどんな目標がありますか。	ビーム：留学したくても日本語が難しくあきらめそうになったときに、私の留学経験の記事を見て「もう一度がんばろう」みたいなことですね。日本は憧れの国みたいになってます。文化、アニメ、歌もタイに入ってきていますので。

2020年度第一回研究例会 質問&回答一覧

Q2	<p>外国語もいろいろあり、中国語や韓国語の人気の高まっているような気もするんですが、タイでは日本語の人気の高まっている感じがありますか？</p>	<p>ビーム：そうですね。昔から高まっていると思いますが、やっぱりみんな日本語勉強したいですね。正直、日本語のほうが韓国語より人気があると思います。日本語はだいたいどの高校でも選択科目になっていますが、韓国語はそこまでいていないです。選択科目は中国語、日本語、フランス語、になっているところが多いです。</p> <p>マカラ：現在、韓国はブームになっていますが、言語よりK-popが人気です。逆に、日本語を勉強している人も、J-popでなくK-popを聞く人多いですね。</p>
Q3	<p>他の国で同じようにYOUTUBEやSNSを通じて活躍したいという人には、どのようなアドバイスを送りますか。フォロワーを増やすためのアプローチ</p>	<p>ビーム：フォロワーを増やすためには、自分のオリジナリティを出すことだと思います。他の人にはない特徴をみんなに出す、見せる。同じものはたくさんあるので、特徴があると覚えてもらえる。私の特徴は何だろう...日本語できる、歌えるのと、声のものまねができるのと、番組のオリジナリティがあるとか...。タイにはほかにも日本語をYouTubeで教えている人はけっこういますが、日本語とタイ語と両方やっているのは自分のサイトが一番規模は大きいと思います。</p> <p>マカラ：私にとってはまず「先生らしい」ということを忘れましょうということですね。そうしないと始まらないから。私の特徴があるとすれば「元気さ」（→陽気さ）だと思います。面白味がないとYouTubeは見てもらえないので。</p>
Q4	<p>YouTuberとしてのキャラ設定に参考にした人はいらっしゃいますか？</p>	<p>ビーム：いないかなあ。最初は私は、話し方がモノトーンだったんです。それで周りの人から「何やってるの、面白くない」と言われて、それからオリジナリティを出すようにしました。</p> <p>マカラ：自分がYouTuberになるなんて思ってもいなかったの、ほかの人のYouTube動画をみて参考にしました。</p>
Q5	<p>マカラ先生 クメール語分野（つまりクメール語を学ぶ日本人に対する動画）への進出は考えていませんか？ぜひクメール語の動画も出してほしいです～</p>	<p>今後考えてみようかなと思います。多分その時はまた違ったキャラクターで配信しようかなと思います。</p>
Q6	<p>ずっと教室で日本語の授業を担当してきましたが、マカラさんの話を聞いて教師の役割やありかたをあらためて考えるきっかけになりました。私はYouTuberにはなれない（なる勇気はない）ので、ではどういう立場で今後やっていけばいいのか考えなければならぬと思いました。 → 司会より質問：先生という立場で教育機関で働いている方が（今日の参加者のみなさんの中でも）ほとんどだと思いますが、今後YouTubeやZoomなどでの教育が発展していくに当たって、教室っていうものはいらぬんじゃないか、とか、従来の学校というものは崩壊しちゃうんじゃないか、大学っていうものは存在しなくていいんじゃないかとかいう恐れ、みたいなものを感じてはいるんですが、その点についてどう思うか教えていただけますか、</p>	<p>ビーム：私はやっぱりオンラインがあっても直接勉強したほうが効果的なのかなと思いますね。集中できますし。オンラインは直接見えないですから。ほかのことやってるかもしれないですね。集中力が落ちると思いますね。</p> <p>マカラ：オンライン授業の大切さもありますけど、やっぱり学校の授業は欠かせないものとずっと思っています。なぜなら（オンラインは）自由に勉強できるけど、でも（もしオンラインだけになったら）勉強しない生徒さんが圧倒的に多くなると思いませんか。でも、それなりに学校に行ったら義務としてというもので、それも一番効果的だと思います。オンライン授業は追加、もうちょっと知りたいものを自分なりに調べていだけなので。先生の立場から「これ知ってほしい、これ憶えてほしい」というものがたぶん、教室では大切。</p>
Q7		<p>↓ ビームさんもマカラさんも決して「オンラインだけで学んでほしい」と思っているわけではなくて、自分で困ったところをオンラインでフォローする、足りないところを相補する、相補していけたらいいなという考えを持っている。</p>
Q8	<p>かなり下世話な話になりますが、収入面はいかがでしょう。世界の若者が憧れる職業、YouTuberにそう収入はありますか？</p>	<p>ビーム：まず、YouTubeのレートが違います。アメリカや日本は高いですが、タイはとても低いです。なので、タイ人にいくら見られても、大したお金にはならないです。（日本からの視聴はタイのレートの）3倍ぐらいになると思います。で、YouTubeで生きていけるかというのは、生きていけないですね。1か月のご飯代ぐらいかな。他の仕事もやらなきゃいけないので、司会とか、オンライン日本語の先生とか、そういう仕事も私もやっています。通訳とか。</p> <p>マカラ：僕の場合は0円でございます。YouTubeからの収入はなしで、でもその関係性はあります。（自分が経営する）会社は総合人材サービスというもので、ビジネスとしては仕事を紹介するんですね。そこで僕のページに「いまこの企業が人材募集しています」ということをアップロードすることによって宣伝効果はあります。今後としてはスポンサーとして受け取ってなにか（収入につなげていく）ということはありませんね。</p>

2020年度第一回研究例会 質問&回答一覧

Q9	<p>お互いの発表を聞いて、共感したこと、なるほどなと思ったことはありましたか。</p>	<p>ビーム：YouTubeは楽しくやること。教科書に載っていない日本語とか。 マカラ：フォロワーの応援。大学で教えていた時は、授業が終わったら「先生ありがとうございました」と言われていたんですが、それは義務。でもYouTubeとして投稿したときに「ありがとうございました」はみんな事前にコメントしてくれるんですね。もう山ほどもらっています。すごうれしいことです。 ↓ お金では替えられない価値観。アフターコロナの時代に考えさせられるような、お金とは別次元で活動をおこなっているということをお二人はすでにされている。</p>
Q10	<p>マカラさんは会社経営と並行してyoutuberをされているとのことですが、両立は大変ですか？ どちらか一本は経済面などから厳しいんでしょうか？</p>	<p>マカラ：そうですね。はい。だいたい平日は本業の仕事、週末はYouTubeの活動を、はい。投稿したらコメントをみて、どんどんやっちゃいますね。コメントなしならやめるかもしれないけど、投稿したらコメントがある。「もっとこれを教えてほしい」「もっとこれ知りたい」とか「これ初めて知りました、先生ありがとう」とか。 ビーム：毎日YouTubeの作業をしていると他のことができなくなるので、2週間分の投稿を一度にまとめて作成し、どの動画を投稿するかスケジュールを決めている。</p>
Q11	<p>SNSの種類によって対象者を想定して作り分けていますか？</p>	<p>ビーム：分けています。例えば、YouTubeいいね押している人はFacebookいいね押していないかもしれないですね。YouTubeだけ見る、Facebookだけ見る。Facebookを見ている人は日本語を勉強している人が多いです。YouTubeは日本に興味ある人が多いですが、日本語を勉強していない方もいますので、やっぱりYouTubeのほうが広くいろんな動画をアップできますね。 マカラ：基本はFacebookですね。Facebookは文字カードと動画の両方、YouTubeは動画を投稿しています。内容は同じものです。Facebookの中にはTop fansがいて、そのtop fansのコメントから要望に合わせてコンテンツを作るようにしています。Top fanは技能実習生の人たちが多いです。 ↓ 教科書に載っていない、日本での生活で耳にする / 現場で言われる日本語（ふざけんよ etc.）をマカラさんがサポートしている</p>
Q12	<p>おふたりは、大学生だったころはやはり大学の先生に「先生らしさ」を求めていましたか？</p>	<p>ビーム：求めているかもしれないですね。先生らしさ...外見ですかね。外見とちゃんと準備して学生のために、適当じゃなくて、そういうことです。私から見ると勉強している先生はみんなとても丁寧に教えていました。 マカラ：高校生までは厳しく、先生らしい先生（がいい）というのを意識していました。姿勢も、髪の毛も、言葉遣いもきれいじゃないと「先生らしくないな」と思っていました。でも大学に入ったら、うちの大学はカンボジア人の先生と日本人の先生が授業をやっていたのですが、日本人の先生とカンボジア人の先生は全然違いますね、同じ先生なのに別の世界に生きているみたい。そこで、先生というのは私がイメージしていた先生だけではない、とその時感じました。つまり、日本人の先生はすごく面白い。カンボジア人の先生はだいたい、かたいんですね。で、そこから「あー、違うなあ」って、先生らしいっていうのはもういい、って（思うようになりました）。</p>
Q13	<p>学んでいた時にはなかった、こんな科目があったらよかったな...という授業はありますか？</p>	<p>マカラ：あります。科目と言えないだろうな...とは思いますが「空気を読む」のはなかなか習得できないですね。いくら表現を憶えても、どういうメッセージだろうと、日本語の中には曖昧な表現もあって、その意味をどう捉えるかが難しかったんですね、だから、表現だけではなく（そこに）隠されている意味を教えてくださいなと思ってます。私自身でも知っている限り、「こういう時は日本人はこう思っているよ」ということを追加で説明します。でも、限界があるんですね。ネイティブではないから。 ビーム：私の大学にはかなりいろんな日本語の授業がありますが、「ポップカルチャー」の授業があったらみんなの勉強が楽しいよーみたいな気持ちにもっとなるかな、って思います。マンガとか、アニメとか一緒に見たり、アニメから勉強する日本語とか、歌から一緒に訳してみたり。</p>

Q14	カンボジアの都市部と田舎で教育格差はどれほどありますか？	<p>マカラ：都会と田舎はまだまだ差があります。特に日本語教育は差があります。地方には日本語教育がない。学びたい人がいないわけがないと思うんですね、（ないから）知らないだけ。そういった地域に日本語教育を取り入れるには、まず（日本語教育への）アプローチが必要だと思います。カンボジアでは日本のことはあまり発信されていないですね、国と国の関係のニュースしかなくて、文化や教育に関しては発信されていないんですね。都会と田舎では得られる情報の量に差がありすぎて、職業にしても田舎では先生、医者、農家になるしか選択肢がないんですね。でも日本語を手段としてもっと世界を感じてもらえるんじゃないかと思います。日本語ができるだけで世界に友だちができるというのが特徴だと思います。</p> <p>ビーム：タイの場合、都市と田舎ではかなり違いが大きいですね。田舎ではインターネットがなかったりとか、オンラインは厳しいですね。インターネットもないし、携帯もないし、パソコンもない人が、かなり田舎のほうではたくさんいると思います。そういったところは、オフラインでも難しいですね。</p>
Q15	配信機材、編集ソフトは自分で買いましたか。編集作業や撮影は自分ひとりでやっていますか？	<p>ビーム：自分で買って、自分で編集しています。自分で撮って、自分で字幕入れて。</p>
Q16	YouTuberとして有名になったことが、それ以外のメリット（自分のクラスの学習者が増えるとか）につながることはありますか。	<p>ビーム：オンラインクラスはこれからやる予定で、学習者もがもともと私のことを知っていると思いますのでやっぱり関係はあると思います。あとは、YouTubeからそんなにお金はもらっていないんですけど、スポンサーとかが入ればそれもメリットになってきますね。</p>
Q17	先ほど教室学習の意義について、義務・管理下での学習効果があるとおっしゃっていましたが、お二人がもう一度日本語を教室で学ぶとしたら、日本語の授業や日本語の先生に期待すること（こんなことを学びたい、こんな先生に教えてほしい）はありますか。	<p>ビーム：わたしは自分の先生に大変感謝しています。先生方は皆とても素敵な先生でした。タイ人の家庭教師と勉強したとき（中学～高校）は、プライベートなのに日本人と会う機会や日本人と話す機会を作ってくれました。それが私の人生のとても大きなインスピレーションになりました。家庭教師の先生がいなかったら、ここまで来られなかったと思います。</p> <p>大学に入ってから、日本人の先生とタイ人の先生と学びました。タイ人の先生はとても厳しいですが、授業は面白いです。レポートや宿題をととても丁寧に直していただきました。相談もできますし、とてもよかったです。</p> <p>日本人の先生の授業もとても面白かったです。厳しさはタイの先生ほどじゃないですがw 学生が楽しく学べるシラバスを用意してくださいました。例えば会話の授業はミニドラマ発表会やったりしていました。そして、クイズとか、試験でいい成績が取れたら、証明書を書いてくださいました。ひとつの学期がおわったあと、日本人の先生が皆に一人ずつ手書きの手紙を書いてくれました。学生の宿題も大変だし、授業の準備も大変だし、毎日大変そうでした。わたしも今形は違えど、教える立場になってその大変さを少しずつ感じております。とても尊敬しています。</p> <p>日本語の授業や日本語の先生に期待すること（こんなことを学びたい、こんな先生に教えてほしい）はありますか。 <<< 特にないです。今まで皆とても素敵な先生でした。</p> <p>マカラ：大学の時、カンボジア人と日本人に教えてくださったんですが、それぞれの特徴があって、とても学びやすい環境でした。日本語に関する授業だけでなく、日本の文化・生活について生徒が体験できるように、色々準備されいました。書道教室などでした。どうしても、生徒のニーズがそれぞれがあるから、もっと教えてほしいことがあるんですが、僕の場合は、料理教室とかを体験してみたいなあと思いました。カンボジア料理と日本料を作りながら、日本語しか使わないルールを接待されたりすると、日本語も練習できるし、文化体験もできると思っています。</p>